

躍進する生長の家社会事業団

SEICHO-NO-IE-SHAKAI-JIGYODAN

創始者谷口雅春先生の願いを正しく受けつぎ、国と社会に貢献する事業を展開しています。

公益財団法人
生長の家社会事業団

〒186-0003

東京都国立市富士見台2丁目39-1

TEL: 042-843-0075 発行人: 久保 文剛

FAX: 042-843-0076 編集人: 佐々木憲彦



十一月は尊師谷口雅春先生ご生誕の月

人類光明化・日本国実相顕現運動に邁進しよう!!

《今月拝読の御言葉》

谷口雅春先生

解決しない問題は一つもない

吾々に現在与えられていることは悉く、吾々の現在の魂の状態にとつて、すべて教育的なものばかりなのである。その仕事を為すことにおいて、その環境に処することにおいて、全力をつくし、全生命をかけ、全精神をつくしてそれと取組むことによつて吾々は魂が向上するのであります。

算数の問題は必ず答があるのである。それと同じく吾々に与えられている問題は必ず解決し得るからこそ吾々に其の問題が与えられているのです。神は決して吾々を難問題で苦しめて、「好い気味だ」などと笑っていただけることはないのです。算数の教師は生徒を苦しめるために算数の問題を課するのではなく、生徒の内に内在する能力を呼び出すために問題を課するのと同じで、何か問題がおこるならば、それはあなたの魂の向上のために課せられたのです。

(新装新版『真理』第2巻43〜44頁)

昭和百年―昭和・平成・令和と受け継がれる「民安かれ国安かれの祈り」

理事 國弘 昭義

戦後八十年の節目の年、天皇皇后両陛下におかせられましては、六月に沖縄と広島、九月に長崎と御巡幸遊ばされました。大東亜戦争終戦八十年を「慰霊の年」とされたのです。それは、昭和天皇、上皇陛下の大御心を受け継がれた「令和の御代の慰霊の旅」と拝察申し上げます。

昭和天皇は、戦前・戦中・戦後を通して、「民安かれ国安かれ」の祈りを貫かれました。

ふる雪にこころきよめて安らけき
世をこそいのれ神のひろまへ (昭和六年 満州事変)

爆撃にたふれゆく民の上をおもひ
いくきとめけり身はいかならむとも (終戦直後)

戦のわざはひうけし国民をおもふ心に
いでたちて来ぬ (昭和二十一年・「戦災地視察」)

ななそぢを迎へたりけるこの朝も
祈るはただに國のたひらき (昭和四十五年)

また、平成の御代の御巡幸は、広島・長崎・沖縄・硫黄島・サイパン・パラオへの慰霊の旅とともに、震災や豪雨等で被災した国民に寄り添い人々の幸を祈られる「御幸」の旅でした。人々の幸願ひつつ国の内
めぐりきたりて十五年経つ (平成十六年・「幸」)

同じく上皇后陛下も次の御歌を詠まれました。
幸くませ真幸くませと人びとの
声渡りゆく御幸の町に (平成十六年・「幸」)

そして、今上陛下も令和の御代の平らかならんことをひたすら祈られておられます。

人々の願ひと努力が実を結び
平らけき世の到るを祈る (令和三年・「実」)

今年「昭和百年」です。それは、昭和・平成・令和と見事に受け継がれた三帝の「民安かれ国安かれ」の絶対無私の祈りに支えられ護られ導かれた百年に他なりません。そして、国民を「大御宝」として拝まれてきた歴代天皇の御聖徳が二千六百八十五年、百二十六代の皇統とともに連綿として護られてきた証でもあります。

尊師谷口雅春先生は、「連綿として萬世不変の『国家の良心』ともいふべき中心者たる天皇を有する国家は、最も完全に神の御心を地上に実現した国家だということができるのであります」と説かれ、「此の神聖なる日本国の実相を顕し、延いては、全世界に地上天国をもたらすために協力する愛国の実践が宗教的実践であると考えるのであります」(昭和四十四年)と論じています。

「生長の家社会事業団」は来年一月に創立八十年を迎えます。尊師は、戦後再刊第一号となる『生長の家』誌昭和二十年十一月号に「生長の家社会事業団の設立」と題して、「天皇制護持」を掲げる政治結社の設立等十項目にわたる日本再建構想を発表されました。

それは、日本救国・世界救済をめざす「第二の立教宣言」とも称すべき壮大な構想であり、その後の人類光明化運動・日本国実相顕現運動の原点でもありました。

「生長の家社会事業団」は、その尊師谷口雅春先生から聖典『生命の真相』・聖經『甘露の法雨』等の著作権を託された唯一無比の法人です。創立八十年を迎えるにあたり、尊師の説かれた『生命の真相』の絶対真理を正しく歪み無く純粹に後世に伝える使命を果たすと共に、尊師、畢生の事業として御造営された出龍宮住吉本宮建立の目的「日本国家を千万年安泰にする霊的礎を築くために建立する」(生長の家家訓)を心に刻み、「住吉大神の全身全霊として」天皇国日本の実現にむけて邁進する愛国の実践を続けてまいります。

永遠の谷口雅春先生の教えが今ここに天降る

「第12回谷口雅春先生報恩全国練成会」に全国から102名参加!!



笑顔があふれる全体記念撮影（2日目）

9月13日から15日まで、ゲスト講師に高倉俊治先生をお迎えして「第12回谷口雅春先生報恩全国練成会」を開催。全国20都道府県より102名の方々がご参加くださいました。

合掌される尊師の大きなお写真が飾られた道場では、清らかな温かい雰囲気のもと、ひとつひとつの行事が喜びと感動のうちに進められ、まさに永遠の谷口雅春先生の教えが今ここに天降る「神癒の練成会」となりました。



又このたびは、最終日が「敬老の日」ということで、二日目の昼の時間に、80歳以上の方々に、谷口雅春先生のお言葉「若々しくある秘訣」（『生活の智慧365章』より）が書かれた感謝の色紙と記念品が手渡され、心温まるひとときとなりました。

参加者よろこびの感想

与えられた愛念に感謝したとき

力が湧いてくることを実感

神奈川県 和田浩幸（38歳）

日々、身にふりかかる様々な課題（妻の病、子供のこと、仕事）に対して、自分自身が踏ん張って乗り切っていかなければならない。参加する前、そんなことばかりを考えていたように思います。

講話資料集に、「人間は肉体ではない。霊的実在である」「神を頭脳で知っただけでは、神が「わがもの」とはならないのである。全心身をもって神の実在を体

感得しなければならぬ」とあることが心に残り、練成会中の行に心を込めたいと思い臨みました。課題があるとき、自分の力、人知だけでは如何ともしがたい事を日々思っています。妻の病が分かっているから、自分なりの深切さには努めてきたように思いつつも、同時に無力感を感じることも多かったです。練成会を受ける中で、目の前の課題は自分一人で乗り越えるものではなく、神の智慧、愛と自分自身がひとつながりになる中から成し得るのだと自然と思われてきました。浄心行で國弘先生が「お父さんありがとうございます」と唱えられ、さんありがとうございます」と唱えられ、

涙があふれてきました。

こうして私が練成会に参加しようと思った



笑いの大会優勝、和田浩幸さん・智世さん夫妻と誠也君。

のも、妻の現象世界での病があり、それを必ず治ると言って下さった職場の先輩の言葉があったからであり、さらには父母がいつも私を支えてくれていたからだと、目をつむって行っていると温かな表情が心に浮かんできました。周りの人から与えられた愛念に心から感謝し生きていくことで、どれだけ力が湧いてくるのか実感できました。

「吾れ今五官の世界を去って実相の世界に入る。ここがそのまま実相の世界である」。目に見えるモノ、コト、人に右往左往されがちな日常生活の中に、神とつながる時をつくっていく。そのことを通じて、妻の病も、その他の目の前の課題も、もう既に全て無いものなのだと信を深めていきたいです。

神の子の自分を讃嘆します

愛知県 上松浩美（仮名）（60歳）

母に対するわだかまりを浄めたいと思って参加しました。いろいろなお話を聞いて、自分をがんじがらめに、こうしなくちゃいけないと縛っていた気がします。上野先生の個人指導を受け、反省ではなく、もっと生かされている神の子の自分を褒め、讃嘆してあげなさいと言われました。本当にそうだなと思いました。

自分を責め、家族にも温かい気持ちで接することができず、亡くなった主人にも至らなくてごめんねと謝ってばかりいましたが、そうではなくて、神様に生かされている自分、お父さんやお母さん、主人の両親、子供たち、孫、兄弟たちに生かされ、愛されてきた自分、その他多くの人にお世話になってきた自分、それを喜ばばいいんだなと思いました。

これからは亡くなった主人や親にも祈りの中でありがとうと感謝を伝えたいと思います。練成から帰ったら祈りと先祖供養を毎日続け、少しずつでも真理の本を読みみたいと思います。

初心の感激がよみがえる

山梨県 水上咲子（73歳）

生長の家の行から離れて何年も過ぎ、頭の中だけで悟りの気分浸っている数年でした。そうした中、足の痛いことも老化現象として受け入れかけていたのですが、練成会のこと頭が浮かび、練成の高い波動を浴びてパワーをもらおうと思って参加しました。

祈り合いの神想観で、初心の感激していた時の心を思い出し、もっと純心に祈り、行い直す必要を感じて、もう一度生長の家の祈りの生活を思い出し、家でも実行することを決意しました。

第2回谷口雅春先生報恩・新生九州練成会（福岡県筑紫野市・二日市温泉大観荘）
11月1日（土）〜3日（月・祝日）

第13回谷口雅春先生報恩全国練成会（東京都国立市・全国練成道場）
1月30日（金）〜2月1日（日）

※詳細は同封のチラシをご覧ください。

聖經『甘露の法雨』に包まれた「霊牌供養」で

ご先祖様へ報恩感謝の誠心を届けましょう!!

本欄では、先祖供養の意義や功德、生長の家独特の「霊牌供養」について紹介していますが、本号より、谷口雅春先生を学ぶ会・井手本昌久全国講師による「先祖供養の大切さ」を全6回の予定で連載させていただきます。

供養の根本的な意義

井手本昌久（第1回）

祖先が生きている！

先祖供養の喜びの体験を紹介します。私の徳島教化部長時代に出会った鳴門市の山城喜代江さんの体験です。

大阪に住む彼女が一番上のお兄さんがクモ膜下出血で突然倒れ、7時間に及ぶ大手術の後、「出血した所が大変危険な難しい箇所です。すぐに亡くなってもおかしくない状態です。仮に命は助かったとしても、植物人間か、重度の後遺症が残ります。残念ですが覚悟して下さい」と医者から宣告されたのです。

「兄を助けてほしい」との一心で、彼女は実家の仏前での聖經『甘露の法雨』の読誦を続け、先祖供養祭には百柱の霊牌を奉納しました。そのお蔭で、お兄さんは奇跡的に意識を回復し、後遺症もなく助かったのです。

また後日、お兄さんが語るところによると、この生還の背景には病床での不思議な体験があったことが判りました。

『意識を回復した時、兄は泣いてこう言いました。「儂がこんなになったのは今まで先祖やおふくろをほったらかしにしていたからや」「儂なあ、上から自分の体を見よったら、親父が儂を迎えに来た。儂は「親父、迎えに来たんやな。ほなけれど、わしはまだせなあかんことがあるんや。それでも連れて行くと言うのなら儂は行く」と言うと、親父は分かったという顔をしてどこかに行った。兄は臨死体験をしたようなのです。兄が父に言った、「せなあかんこと」とは田舎に祀っている神様やご先祖様や老いた母を見なくては

けないということのようです。父は一人遺される母を大変気にかけて亡くなりました。父は兄に長男である役目に気づいてほしかったのでしよう。運送会社の取締役として仕事一筋だった長兄は、それからは人が変わったようにちよくちよく母に電話をかけてくるようになりました。霊界にいる父も安心したのか、それ以来、母の枕元に立つことはなくなったとのことです。』

幸福生活の基盤となる先祖供養！

谷口雅春先生の次の御文章があります。

『現代の多くの人たちは、あまりにも個人主義に目醒め過ぎていくために、自己の運命が左右される原因となるべき両親との連関、更に進んでは祖先の霊魂との連関を忘れてしまっていて、恰も根を培い幹をそだてる事を忘れて、枝葉ばかりが独走して、美しき花を咲かせ良き果を実らせようとあせっているかのように見えるのである。』

しかしながら諸君よ、あなた達の祖先は生きていけるのである。無論、祖先の肉体は生きていない、けれども肉体は「人間そのもの」ではないのである。』（『精神科学』昭和38年2月号）

祖先が生きている。この事実こそ供養の根本的な意義があるのである。

子孫の繁栄と幸福は、御先祖を大切に思い、唯々報恩感謝の誠心を以て御先祖の供養をさせて頂くことからです。

日々の御仏前での供養とともに、毎月の先祖供養祭には、霊牌を一柱でも多く奉納し、聖經読誦の真理の供養で、御先祖様に感謝の誠を捧げるように致しましょう。（元徳島・鳥取・宮崎教区教化部長）

墓じまいの心構えを教えられて

神奈川県 長木一恵（67歳）



私の実家は北海道にあります。父は分家で、本家は叔父が継いでいました。ところが叔父が亡くなった後、その子供

やいとこ達は誰も墓を守ろうとせず、私の兄に墓守を頼んでいました。その兄が七年前に亡くなり、本家のお墓はほったらかしになっていました。私はそれは良くないと思い、兄嫁やいとこ達に墓じまいを再度お願いしたのですが、そのままぶん投げておけばいいという返事だったんです。

あのまま無縁仏にするのは耐えられないと思っていたところ、主人が「いいじゃないか、うちがやらせてもらおう」と言ってくれたので、費用をうちが出して墓じまいをすることにしました。しかし本家のいとこや兄嫁たちにすごく怒りを感じ、心の中で煮えたぎる思いがありました。

そんな今年の一月、血小板の数値が急激に下がりはじめ、四月には測定不能と言われ、北里大学病院の血液内科へ行くように言われました。

それで安東巖先生にお電話をさせていただき、血小板のこと、墓じまいの経緯、いとこ達に裏切られたように、ものすごく腹が立ったことをお話しました。安東先生は親身になつて聞いてくださり、二つのこと

をご指導くださいました。一つ目は北里大学病院できちんと検査を受けること。二つ目は墓じまいをする前に北海道に行つて墓前で聖經を誦げ、墓じまいになる理由をご先祖様にお

話しなさいということでした。そして、あなたが優しいから先祖があなたに墓じまいを頼んでいるのであって、それは、お金を借りるときには、お金を持っている人に頼むのと同じようなものだとお話してくださいました。

ただ、墓じまいといっても、私はお坊さんに頼んで魂抜きをすればいいと考えていたので、安東先生のお話を伺いながら、私は間違ってたなっ。確かに仏前でお経を誦げるけど、そこまで申し訳ないと思ったことはなかったんです。霊牌も色々書いてましたけど、墓じまいくって思ってただけでお詫びをすることがなかったのです。本当に申し訳ないと思い、北海道に行つて墓前で『甘露の方法』を誦げようって決心しました。その二日後、北里大学病院で危惧していた血小板の検査を受けたところ、なんと数値が元に戻っていました。担当の先生は、「一週間も経たない内に正常に戻ることはないのだが」と首を傾げていました。

すぐに安東先生に報告しましたら、「おめでどう、よかったな。正常値になったのは心が変わったからだよ。申し訳なかった、墓前で聖經を誦げようって決心したその心がご先祖様に届いて助けてもらったんだよ。これからご先祖様が守ってくださいよ」って大変喜んでくださいました。

お盆を過ぎてすぐに札幌のお墓に行き、主人と二人で聖經を誦げました。その日は大雨だったんですけど誦げる時は雨も降らず、暑い中しっかりと誦げてきました。これからも心を込めてご先祖供養をしていきたいと思っています。（第12回全国練成会での体験発表要約）

生長の家のみ教えを正しく護り伝えるために！！

1口 33 万円の特別献資に ご協力ください！！（分割可）

＜当事業団が行っている五つの創立記念事業＞

- ① 聖典『生命の實相』、聖經『甘露の法雨』を永遠に護り抜く
- ② 谷口雅春先生報恩全国練成会の開催
- ③ 「生長の家教義」研修講座と青少年練成会の全国展開
- ④ 「児童養護施設生長の家神の国寮」の運営
- ⑤ 「谷口雅春先生記念図書資料館」の充実拡大

— これらの事業は皆様の尊いご献資で支えられています —

今から 80 年前の昭和 20 年、敗戦によって希望を失った国民に対し、谷口雅春先生は日本再建のための一大政策「生長の家社会事業団の設立」を発表されました。それは立教以来の個人の魂の救済、病気の神癒、人生の苦難の解決という個の救済運動とともに、それを超えて国家救済、世界救済をめざすという一大構想でした。

そして、これら施策の遂行をなしとげるため谷口雅春先生は、聖典『生命の實相』、聖經『甘露の法雨』等の著作権を「生長の家社会事業団」へ基本財産として寄付された

新編『生命の實相』全 65 巻成就
今こそ全巻拝読を！！



全国の皆様からの特別
献資等によるご支援により『生命の實相』等の著作権は護られています。
これを永遠に護り抜くため、引き続きご支援のほどお願い申し上げます。

のです。

このことは聖典『生命の實相』、聖經『甘露の法雨』に基づく正しい生長の家教義の久遠の護持とその普及を当法人に託されたことを意味します。

私達、生長の家社会事業団は、この谷口雅春先生の教えと願いを大きく発展させ、正しい「生長の家」を次世代につなぐため、皆様にご寄付の協力を仰ぐ次第です。

（同封のご寄付のチラシをご参照ください）

【税務上の特典】生長の家社会事業団への寄付は、税制上の優遇措置（税額控除等）の対象となります。

＜特別献資奉讀者よろこびの声＞

私は『甘露の法雨』と講師の先生方のご講話にどれだけ救われていることでしょうか。感謝あるのみです。生長の家社会事業団が益々栄えますことを心より祈願し、特別献資の寄附金として奉獻致します。（長崎県・匿名）

「谷口雅春先生記念図書資料館」行事案内

◇ 神示祭 11 時～ 屋上の「龍宮住吉本宮社殿」にて

11 月 4 日、10 日、25 日、27 日、
12 月 5 日、28 日

◇ 『真理』勉強会 11 月 8 日（土）

13 時半～15 時半
指導：熊本司講師（元本部講師）
テキスト：新装新版『真理』第 10 巻



大調和の神示祭を厳修（9/27）

◇ 新編『生命の實相』輪読会

11 月 22 日（土）、12 月 22 日（月） 13 時半～15 時半
指導：久保文剛講師（理事長）
新編第 17 巻（頭注版第 9・10 巻）霊界篇



◇ 「日本の心—生命の教育」講座

11 月 9 日（日）、12 月 14 日（日）
（新教連、13 時～15 時半）

◇ 定期一般開館日

11 月 6 日・20 日（原則第 1・3 木曜日
11 時～15 時）

所在地：東京都国立市
富士見台 3-31-14
最寄駅：JR 南武線
矢川駅（徒歩 3 分）

熊本司講師による『真理』勉強会

よろこびの報告

熊本司講師による『真理』勉強会では、毎回温かい雰囲気の中『真理』を読み進めています。

10 月 4 日の勉強会では、始めに「第 12 回谷口雅春先生報恩全国練成会」に参加された河野佳子さんによりよろこびの体験が語られました。「白内障の手術をしたばかりの父と大喧嘩をし、そのまま練成会に参加しました。気持ちがむしゃくしゃしていた中で、すぐに福笑い大会があり、思いっきり笑って気分が明るくなり嬉しかったです。そのお陰もあり、家に帰ってからは父との関係も修復し、父の目も良くなり、自分の仕事も順調にっています。ありがたい 9 月でした。」

それを受けて久保文剛講師からは、「熊本講師は 3000 名以上のお一人お一人の幸せを毎日ご自宅で祈っておられるので、お父様もまた祝福されると思いますよ」とのこと。その後も他の参加者のよろこびの発表で会場は盛り上がり、楽しくも有意義な勉強会となりました。

（百地雅宏）



和やかな雰囲気の中、熊本講師がご指導をされる。

11 月の行事日程

日程	行事	時間	場所
1（土）	月始め感謝祭 聖使命奉讃会感謝奉納祭	10 時半～	道場
1（土） 3（月）	第 2 回谷口雅春先生報恩 新生九州練成会	開会 12 時 50 分 閉会 15 時 10 分	福岡
4（火）	生長の家の食事の神示祭	11 時～	社殿
6（木）	図書資料館一般開館日	11～15 時	図書館
8（土）	『真理』勉強会（熊本司講師）	13 時半～	図書館
10（月）	無病常楽の神示祭	11 時～	社殿
16（日）	物故者 顕彰祭 先祖供養祭	11 時～	道場
20（木）	図書資料館一般開館日	11～15 時	図書館
22（土）	谷口雅春先生ご生誕報恩感謝祭 『生命の實相』輪読会	11 時～ 13 時半～	道場 図書館
25（火）	本来生、不滅の神示祭	11 時～	社殿
27（木）	終戦後の神示祭	11 時～	社殿

12 月の行事日程

日程	行事	時間	場所
1（月）	月始め感謝祭 聖使命奉讃会感謝奉納祭	10 時半～	道場
4（木）	図書資料館一般開館日	11～15 時	図書館
5（金）	信仰生活の神示祭	11 時～	社殿
21（日）	物故者 顕彰祭 先祖供養祭	11 時～	道場
22（月）	谷口雅春先生謝恩祭 『生命の實相』輪読会	11 時～ 13 時半～	社殿 図書館
28（日）	日本の實相顕現の神示祭 君民同治の神示祭	11 時～	社殿

「場所」欄の「道場」は全国練成道場、「図書館」は図書資料館、「社殿」は同屋上の龍宮住吉本宮社殿です。どなたでも自由に参加できます。

生長の家社会事業団は、谷口雅春先生の正しい御教えを伝えるあらゆる団体、人々を支援しています。

住吉大神の祝福燦々と降り注ぎ給う

「神癒・聖經供養」祈願（奉納金は随意）
問題解決、神癒の体験続々と！

神様の祝福に包まれた幸福人生を招く
「聖使命奉讃会」（月額一口 1,000 円）
にご家族と一緒にご入会ください。

生長の家社会事業団公式 HP のご案内

スマートフォンをかざして QR コードを読み取っていただきますと、生長の家社会事業団の公式ホームページが表示されます。本機関紙のバックナンバー、主催行事・後援行事のご案内、情報公開等を掲載しています。どうぞご覧ください。



物質に傷けられたるが如く見えている時に、反省してみると、物質によるよりも先に自分の心が恐れていたか、憎んでいたか、怒っていたか——とまかく傷いていたことを発見するであろう。（新編『生命の實相』第 61 巻 幸福篇 73 頁）